※令和３年度以前入学生用

学校番号	T3015

令和５年度　工業科

教科	工業	科目	堺学Ａ	単位数	２	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	本科目の開校式に配布する資料						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目は、堺の伝統ある地場産業を学び知り触れることにより、地域社会に根付いた人材の育成をはかることを目的としている。また、この科目を履修することで将来の職業選択について考える機会とする。具体的には、堺の伝統産業である打ち刃物の製作を行っていく授業である。授業の性質上、特に安全に気を付けて作業を行うことが必要である。

２ 学習の到達目標

堺の伝統ある地場産業を学び知り触れることにより、打ち刃物の歴史について学ぶ。
打ち刃物の製作過程である鍛造や研ぎについて基礎的な技術を学び、地域社会に根付いた人材の育成をはかる。。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	課題について関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。	安全に作業しながら、よく切れて長持ちする刃物づくりを製作するにはどうすればよいか考える思考力を養う。基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	基礎的・基本的な技術を身に付け、その技術を適切に活用している。	刃物づくりに必要な金属材料についての基礎知識や鍛冶・研削作業について基礎的・基本的な知識を身に付け、工業の意義や役割を理解している。
評価方法	学習状況の観察 実習製作品 作業ノート 自己評価	学習状況の観察 実習製作品 作業ノート 自己評価	学習状況の観察 実習製作品 作業ノート 自己評価	学習状況の観察 実習製作品 作業ノート 自己評価

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４ 学習の活動

月	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
10 11		・堺の伝統産業である打ち刃物の歴史についてDVD視聴 ・特別非常勤講師より講話	◎ ○	○ ○		○ ◎	a: 堺の伝統産業である打ち刃物の歴史について主体的に学んでいる。 b:実習を安全に行うために適切に判断し表現しようと心掛けている。 c:主体的に堺の打ち刃物の技能を身につけている。 d: 刃物づくりに必要な鍛冶・研削作業等について基礎的・基本的な知識を身に付け、理解している。	学習状況の観察 作業ノートの記述 実習作品 発表 自己評価
12 1		・軟鉄・炭素鋼の鍛接作業 ・材料の焼き入れ・焼きなまし・切断作業 ・刃をつけるための研ぎ作業 ・発表用の写真やビデオ撮影を行う。	◎ ○ ○ ◎	○ ◎ ○	○ ○ ◎	○ ○ ○ ○	a: 意欲を持って打ち刃物を製作し、安全に作業を行うことについて主体的に行動しようとしている。 b: どのようにすればよりよく鍛造や研ぎ行うことができるか、また安全に作業を行うことができるか判断している。 c:打ち刃物製作に関する基礎的な鍛造や研ぎ作業を身につけている。 d: 刃物づくりに必要な金属材料について基礎的・基本的な知識を身に付け、理解している。	学習状況の観察 作業ノートの記述 実習作品 発表 自己評価
2 3		・ステンレス刃物材料の冷間鍛造・熱処理 ・刃をつけるための研ぎ作業 ・発表用の写真やビデオ撮影を行う。	◎ ○ ◎	○ ○	○ ◎	○ ○ ○	a: 意欲を持って打ち刃物を製作し、安全に作業を行うことについて主体的に行動しようとしている。 b: どのようにすればよりよく冷間鍛造や研ぎ行うことができるか、また安全に作業を行うことができるか判断している。 a:打ち刃物製作に関する基礎的な鍛造や研ぎ作業を身につけている。 d: ステンレス材料の熱処理や研ぎ作業について基礎的・基本的な知識を身に付け、理解している。	学習状況の観察 作業ノートの記述 実習作品 発表 自己評価

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。◎は、その中でも特に重点的に評価を行う観点である。